情報のプロはこう読む！新聞の正しい読み方（第7回）

紙面にニュースの「格付け」があるって知ってます？（上）

2019.01.24



紙の新聞を読む上で何よりも大事なのが、「見出し」に込められた意味を知ることです。

実は、紙の新聞の見出しには、ネットのそれにはない、さまざまな工夫が凝らされています。見出しの正しい見方を知っているかどうかで、新聞から得られる情報量はまったく違ってくるのです。

ところで、世の中にはさまざまな「格付け」があります。世界的に有名なのが、レストランの評価を星の数で表した「ミシュランガイド」でしょう。

この「星による格付け」はミシュラン以外にもさまざまなサービスが利用していて、みなさんも一度はお世話になったことがあると思います。「ぐるなび」のようなレストラン・ガイドもそうですし、「トリップアドバイザー」のような旅行ガイドでもこうした評価方法が導入されています。3～5段階にランク付けして、物事の評価を教えてもらえるというのは、大変便利だからです。

実は、紙の新聞のニュース記事にも、すべて同じような5段階の評価が明示されていると聞いたら、みなさんは驚かれるでしょうか。

星マークこそ付いていませんが、ミシュランガイドで紹介されるレストランと同じように、記事は「重要度1」「重要度3」などと格付けされ、読者にも一目で分かるように示されています。言い換えれば、すべての記事に「オススメ度」が表示されているのが、紙の新聞の特徴なのです。

しかし、新聞を読み慣れている人でも、紙面を見て「この記事は2」「この記事は5」などと言える人はほとんどいないと思います。一方、新聞を作っている人たちは、常にこの「格付け」を強く意識しています。

記者にとっては、自分が書いた記事が「3」なのか「5」なのかは、その日に気持ちよく眠りにつけるかどうかを左右する、重大な違いだったりします。新聞社では、「格付け」を巡って記者が上司と大げんかをすることさえ珍しくありません。

見出しの段数が表す記事のランキング… 続きを読む